



小諸をよくする



自分が小さい頃に、母親に連れられて訪れた懐古園には桜が咲いていて、そこには大勢の人で賑わっていました。その頃の記憶に比べて、今の小諸は、人が少ないイメージがあります。やはり小諸は、人やお店が多くて活気があるべきだと思っています。

以前から小諸商業高校とは連携したいと考えていましたが、なかなか機会がありませんでした。そんな中、小諸未来義塾が発足しました。

このつながりがとてもうれしく、学校同士で一緒になって企画を考えることができ、また違う視点に立つて考えることができます。小諸高校の枠を超えて新しいことにチャレンジできることがとても楽しみに感じます。

小諸未来義塾の一員として、このつながりを大切に、小諸未来義塾の存在が当たり前になるように継続していきたいです。

この「つながり」が新しいチャレンジに



小諸高校 生徒会長
土屋 和音さん
趣味：音楽
将来の夢：保育士

小諸未来義塾を通じて、生徒の「主体性」を育みたいと思っています。

これまでの行政と高校の連携をさらに強くする小諸未来義塾では、小諸市が抱える生の課題に対し、生徒が本気になって向き合うことができる環境が整いました。生徒自らが自分事として課題に向き合うことで、「主体性」が生まれ、地域への関心が持てるようになります。

また、小諸市の活性化に高校も絡むことで新しいことができるはずです。高校生の発想が新しい気づきを与え、小諸が元気になるきっかけになればと考えています。

第1回の小諸未来義塾では、生徒たちは、まだあどけない様子で参加していましたが、市職員の皆さんの熱意のこもった姿勢をみて感化されていました。

生徒の「主体性」を育む



小諸高校 校長
大田 一昭さん